



今年度のESDの重点目標

- ・総合的な学習の時間を中心に、各教科の学習と関連付けながら、各学年でSDGsに関する授業に取り組む
- ・子どもサミット担当児童を中心に、全校でSDGsに関する取り組みを行う

【令和3年度 ESD 実践報告】

01 「あきとなかよし」(1年生 生活科)



生活科でさつまいもを育て、秋に収穫をした。その際に、さつまいものつるを利用して、リースを作成した。秋見つけをしたドングリやまつぼっくりなどを飾りつけて、秋らしいリースを作った。一連の学習を通して、自然の素晴らしさを感じ取らせ、さらに大切にしていきたいという気持ちをもたせることができた。

02 「いざという時に備えて」(3年生 社会科 総合的な学習の時間)

「資源を大切にするために自分ができること」(4年生 社会科 総合的な学習の時間)



3年生では、非常時に対応できるように、消火器、防火扉、避難経路などの確認をして、校内安全マップを作成し、学校行事の「村上文化祭」で掲示して全校に向けて安全の意識が高まるように発信した。4年生では、社会科で学んだことを生かし、学校行事の「村上文化祭」に合わせて、資源ごみの分別やリサイクルについてのゲームを作り、全校児童に楽しみながらごみの問題やリサイクルについて考えてもらえるようにした。

03 「SDGsについて調べよう・発信しよう！」(5年生 総合的な学習の時間)

17の目標の中から自分が興味のある目標を選択して調べ、SDGsに関する問題や解決に向けた取り組みについて新聞やポスターで学級の友だちや全校に向けて発信し、SDGsについての関心を高めてもらえるようにした。学校行事の「村上文化祭」では、8つのグループに分かれて、劇、ペープサート、パワーポイント、クイズ、紙芝居などを作成して動画を撮影し、世界にある解決しなければならない問題について、全校に向けて分かりやすく発信した。



04 「SDGs Action」(6年生 総合的な学習の時間→全校での取り組み)



村上のよいところや素敵などところを集め、その後、村上の改善すべきところを17の目標に合わせて考えた。その改善すべきところをよくするために、自分たちはどのような活動をしたかを考え、宣言をした。この学習を経て、捨ててしまう落ち葉を堆肥にして村上小学校に還元したいという子どもたちの思いから、子どもサミット実行委員やSDGs実行委員を中心にして場所を選び、落ち葉掃きの活動を行った。活動を行う前には、実行委員が中心となり、SDGsについての紹介や堆肥作りについての説明をするためにウェブ集会を開き、全校で取り組めるようにした。

05 「SDGsの目標について知ろう」(日本語教室4・6年生)



SDGsの目標について、①何を伝えたいか②自分でできることは何かを考えた。外国人児童生徒等教育相談員の説明やSDGsの本や動画を使って理解を深めた。9月には、夏休みに体験したことから、SDGsにつながることを探し、ポスターを制作して活動を呼びかけた。ごみの分別やごみ捨てを行い、身近にSDGsにつながる活動があることを探して実践した。赤い羽根の共同募金について、外国人児童生徒等教育相談員の説明や動画で考えを深めた。